

噴火に伴う災害2

Damage from Eruptions 2



地表を流下する噴出物に伴う災害は、その温度や速度により被害の内容や規模が変わる。火砕流は、火砕物と火山ガスなどが一体となり、高温、高速で斜面を下し、あらゆるものを焼きつくし破壊する。溶岩流は、流れる速度は小さいが、進路にあるものを焼きつくし埋没させる。その他、二次的に発生する火山泥流や岩屑なだれなども大きな災害を引き起こす。

地表を流下する噴出物

火砕流

火砕物や火山ガスが一体となり、高温、高速で斜面を流下



雲仙岳 1994(平成6)年噴火

溶岩流

高温の溶けた岩石が流下



伊豆大島 1986(昭和61)年噴火

火山泥流・土石流

火砕物や土砂などが水と一体となり高速で流下



有珠山 2000(平成12)年噴火

融雪型火山泥流

火砕流などの熱により雪や氷が融けて発生する火山泥流



十勝岳 1926(大正15)年噴火

岩屑なだれ(山体崩壊)

噴火や地震などに伴い山体の一部が崩壊し、高速で流下



磐梯山 1988(明治21)年噴火